

## 回文

2022/3/23

こじままじこ (小島裕子)

春ですね。冬の鋭さのある陽光から春の柔らかい陽光に移り行く季節が好きです。こここのところ、「春に3日の晴れなし」が続いていますが、暖かく晴れた日は外に出て思いきり春の空気を楽しんでいます。

今回の回文のお題は「冬眠から目覚め・・・」です。

ポストシリーズ、今回は「世界のポスト⑧・イタリア編」です。

### 「冬眠から目覚め・・・」

はるはいろいろいはるは (春は色々居はるは(わ)) 京都弁

はるでへびたちまちたびへでは (春でへびたちまち旅へ出るは(わ))

はるよくまああこのこのあいまくよるは

(春よ、熊会あの子、この愛甘く、夜は)

でたぬきはるにももにるはきぬたで (で、狸、春に桃煮るわ、砵で)

ももんがのめざめわいたべたいわめざめのがんもも

(モモンガの目覚め、ワイ食べたいわ、目覚めのガンモも)

かもしかみかけたはるはたけかみかしもか

(カモシカ見かけた春畑、上(かみ)か下(しも)か?)

くもはるのひかりをりかひのるはもく (蜘蛛、春の光を理解、乗る葉木)

「世界のポスト⑧・イタリア編」



イタリア(ミラノ)

大都市のポストはまだ落書きが少なく綺麗です。

イタリアのポストは赤が主流のようです。



で、トリノはこんなかんじ(どうしてポストに落書きするのかなあ?)



シチリア。石の壁に付けられたポスト。趣がありますが、落書きもイタリアならではのようです。(友達撮影)



アオスタの街のポスト。

イタリアではちょっと変わり種のポストです。(友達撮影)